

比良比叡トレイル(武奈ヶ岳～小女郎峠)縦走

日時:2024年4月27日～28日

メンバー:A原、T野、T山、H口、K野

昨年の秋、高島トレイルを歩いた翌日、琵琶湖の西岸をいくJR湖西線で京都に向かう車窓から平らで美しい稜線が望めました。

地図を広げてみるとその稜線は「比良山地」でした。「ひらさんち」その響きは聞いたことがあったけど、なるほどこいらがひらさんちなのか。

いつかあの平らな稜線を琵琶湖を見下ろしながら歩きたいなあ、と思いそれは意外と早く実現することになりました。ことしのGW、いつもは山スキー一択ですが、今年は寡雪で遊べるところが限られるとか、平日が間に入りGWが前半後半に分断するとか、なんだかんだでGW前半で比良山地の縦走が具体化し、スキー難民と化した人たちが集まったのでした。やった！

メンバーはふだんあんまりテント泊縦走をしなさそうな人たちが集まりました。

馴染みのない近畿のお山を愉快的仲間たちとテント泊。もうワクワクが止まりません。ふふ。

また、この時季はルートの途中に琵琶湖バレイという水仙畑が広がる景勝地があり、それも一見の価値あり！

山行の押さえないポイントは、武奈ヶ岳登頂、北比良峠で泊まる、水仙畑を観る、の3点。

好天を祈るばかりです。

[比良山地-Wikipedia より](#)→



■4/26(金)21時 新宿駅西口はGW開始の影響か電車も駅も混んでいた。今晚は名古屋在住のK野ちゃんちに泊めていただくことになっている。

首都高のぐるぐるを難なくこなすT野さんがすごい。東京起点で名古屋は仙台と同じくらいの距離とのことだが、自分がドライバーだったら首都高を使うか否かで東京以西ははるかに遠い地だ。

新東名を順調に飛ばし、名古屋には1時過ぎに着いた。名古屋ちかい！

K野ちゃんちのリビングで静かに入山儀式をし就寝。

■4/27(土) T野車をK野ちゃんちにデポ。K野ちゃんセレナで出発。

名古屋名物モーニングも魅力的だが、時間はまだ6時でほとんどの店は開店前なので、ギンザ御用達「すき家」にはいる。

琵琶湖までは約2時間のドライブ。土地がら、戦国時代には数多くの武将がしのぎを削った地なので、車内は武将や城や歴史スポットの話題で、私、ついていけませーん。寝てよ。

さて、今日は武奈ヶ岳を登頂し、北比良峠に泊まる計画だ。

武奈ヶ岳へのルートは縦横無尽にたくさんあるが、比較的短時間で登れるイン谷口からのルートにした。

「イン谷口」とは、どこぞのホテルのような名前だが、イン谷にかかる「イン谷橋」が由来だそう。

車を大山口にある駐車場に置き、10:15 出発。

沢を渡り樹林帯に入る。概ね道は登りやすい。標高をあげていくと足元にイワカガミやスマレなど春のお花が和ませてくれる。とこ



ろどころにイワカガミの群落がある。シキミの白い花、馬酔木の赤い若葉、ピンクのシャクナゲ、アジサイの木のような白いムシカリ、少女のような可憐なイワウチワ。

歩き出して2時間ほどで北比良峠に到着。開放感のある台地で眼下に琵琶湖が見下ろせる超絶景テンバだ。テントを設営し不要な荷物をデポし、武奈ヶ岳へ向かう。小粒の雨が落ちてきたがすぐにやんだ。小さな沢にはイモリが泳いでいた。八雲ヶ原は高層湿原となっており、ここにテントを張る人もいるようだ。自社の商品、某〇〇モンテのテントを見つけるとT野さんは嬉しそう。

武奈ヶ岳はその名の通りブナのお山でブナの樹が多い。秋もきっと美しいことだろう。

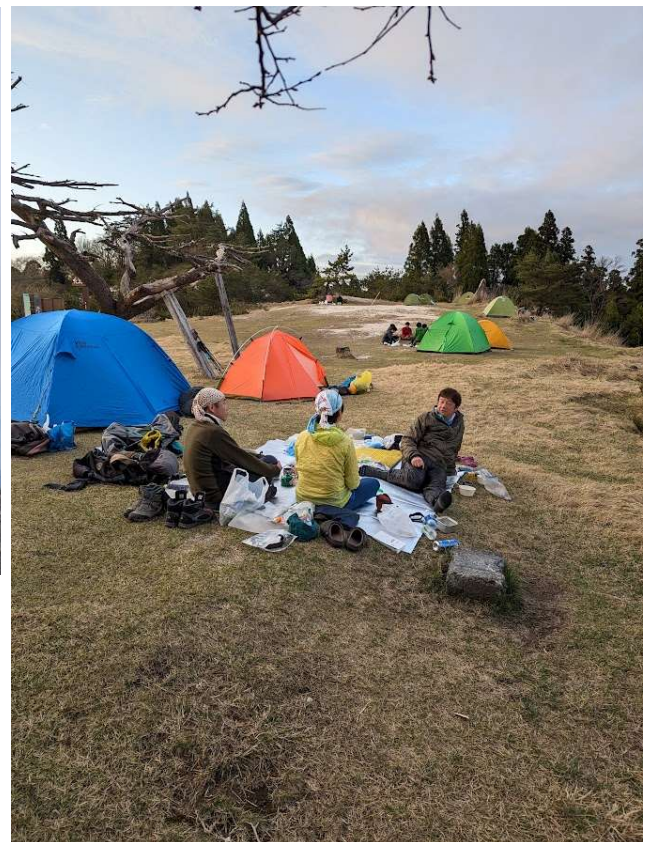
北比良峠からイブルキノコバ経由をし1時間ほどで武奈ヶ岳とうちゃこ。曇り空だが大パノラマ。琵琶湖をはさんで向こう側には伊吹山のシルエットが見えた。

見渡す山やまは新緑にはちょっと早くて緑になりきってないライトモスグリーンて感じ。その中に点在する細長い三角形▲は杉の木でいいアクセントになっている。

北比良峠に張ったうちのテントが小さく見えた。

30分ほど寛いでさあ下山。当初の予定は展望のいい西南稜を歩くのだが、モチがあがらず？早くビールが呑みたくて？西南稜は回らず、コヤマノ分岐を右に北比良峠に戻ることにした。

15:30に峠のテンバ着。さあ呑もう。寒くも風もなく外宴会びより。



みんなが持ち寄ったツマミを肴に乾杯。じゃがいも3ヶはガレットにした。久しぶりの外宴会は楽しい。

夕飯はナスとタケノコとシイタケとサラダチキンを入れてグリーンカレーにしてみた。辛ウマ！

日が暮れると琵琶湖のキラキラの夜景が美しい。

見上げればいくつもの星がきらめき、目を凝らすと人工衛星のゆっくり移動の光、明滅しているのは飛行機？K野ちゃんが星空ナビのアプリで天体観測。

周りのテントが暗くなってうちらも外宴会を撤収することにし20時ごろ就寝とした。

■4/28(日) 5:40北比良峠テンバ出発。朝日を浴びてテンバがオレンジになる。琵琶湖には青白い湿気を帯びた空気が漂い、山やまを浮島のように浮き上がらせている。今日は絶好の登山びよりだ。

道はやがてピンクのシャクナゲロードになった。満開でうれしくなる。

琵琶湖湖畔にはマス目の田園が見えた。琵琶湖大橋のなだらかな曲線も見えた。

6:00金糞峠。かなくそ、と口にするのもはずいが、由来は鉢山の鉢滓「金屎(かなくそ)」という説がある。

ときどき植生が杉林一帯に入るが、杉林は暗いが少し涼しくて、そして静かで嫌いじゃない。

堂満岳ピストン。山頂はシャクナゲの華やかなピークだった。みんなオトメになって撮影会。

烏谷山ではT野さんが「あれは白山か！」と叫んだ。遠くうっすらと白を纏った三角が見えた。

南比良峠、比良岳あたりはブナと雑木林が混在し、小川も流れるおだやかないい森だ。
木戸峠には小さなお地蔵さまが祀られていた。このトレイルは、峠や道の傍らにお地蔵様が祀られ、いにしえから信仰と修行の道であったことを感じる。

木戸峠を過ぎると、スキー場のゲレンデとなりひと登りでにぎやかなロープウェイ乗り場に出た。ここが打見山 9:50。別名、「びわ湖バレイ」という山岳リゾート地。わらわらと観光客がロープウェイでやってくる。私たちのような登山スタイルの者はほとんどいないが気にせず。

琵琶湖を見下ろしながら次の蓬莱山を目指す。蓬莱山の斜面には 30 万球の水仙が一斉に咲き誇っていた。まさに一面黄色の世界だ。これこれ、これが観たかったのよ。

水仙畑の中をのんびり登るとそこが蓬莱山の山頂になる。数多くの人を迎えるように 9 体のお地蔵様が鎮座していた。琵琶湖はもちろん、武奈ヶ岳から辿ってきた稜線、これから向かう稜線が見渡せた。



小女郎峠までは見晴らしのいい笹原の稜線散歩になる。峠にある伝説のある池に寄り道をしたら、旅もいよいよラストラン。

蓬莱駅を目指して下山だ。これが意外と急な下りで長くて暑くて疲れた。多くのハイカーとすれ違って、このお山の人気のほどがうかがえる。

麓に下りてくるとワラビ採りをしている人がいた。そんな季節なのね。

民家が出てくると滋賀県で一番の有名人、飛び出し坊やのとび太くんがいたところに出現してきた。学生さん風や女の子版など変わり種もたくさん。

13:40 蓬莱駅着。終わった～。みんなでグータッチ。本日の行動時間 8 時間で、けっこう頑張りました。はい。蓬莱駅から湖西線に乗り、比良駅で下車。タクシーで車を回収した。お風呂はイン谷そばにある「比良とびあ」。いい湯でした。

この日のねぐらは琵琶湖の湖畔にある湖岸緑地公園という無料でバーベキューやキャンプが楽しめる公園に泊まる。

琵琶湖が目の前にあって、歩いてきたたおやかな稜線が望めた。陽が落ちて暗くなると、山の中腹の明かりがあるが比叡山の明かりだろうか。

■4/29(月)今日も晴れ。やっぱりジブン、晴れオンナとほくそ笑む。ふふ。

K 野ちゃんの案内で名古屋観光。まずは名古屋城。

いまや城マスターのギンザの M 木さんの受け売りか、にわか城マニアの人びとに付いて歩く。石垣やら石積みがなんと、石垣の刻印が、天守が、お堀が、やぐらが、あ～～～。

次に向かうは、名古屋市市政資料館。ここは、ドラマ「虎と翼」のロケ地。歴史ある建物が無料で見学できてゲー。最後は豪華に名古屋名物ひつまぶしを食す。旨でした！

K 野ちゃんちの T 野車を回収し、K 野ちゃんと別れ、東京組は帰途についた。



比良比叡トレイルは、琵琶湖の西岸に位置し、南は世界遺産の比叡山、北は武奈ヶ岳など 1000m を超える峰 15 座の山稜を行く約 55km の道です。

今回歩いたのは小女郎峠から武奈ヶ岳までなので約 1/3 くらいでしょうか。

残りのルートも機会があればぜひ歩きたいと思います。

みなさん、今回お付き合いいただき感謝です。また、新緑や紅葉のなか、ささやかなお酒と食材をもってテント泊しましょうね。

コースタイム

4/27(土) 10:15 大山口-12:18~12:35 北比良峠-13:48~14:15 武奈ヶ岳-15:25 北比良峠

4/28(日) 5:40 北比良峠-6:00 金糞峠-8:14 烏谷山-8:49 比良岳-9:50 打見山-11:20 小女郎峠-13:40 蓬萊駅

おしまい

記:A 原

